



学校だより

11月号(第05-08号)

令和5年11月24日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 591 - 4183

【未来を変えた文化祭での踊り】

副校長 北村明裕

「先生。僕と一緒に番組にでてもらえませんか？」

それは突然の電話から始まりました。昨年4月初旬のことです。20数年ぶりの会話でしたが、時々テレビで耳にする声からか、不思議と懐かしさを感じません。声の主は私の初任校の教え子であるK君でした。K君は現在、あるダンス&ボーカルグループに所属しています。数年前に久々に大ヒット曲がでて、16年ぶりに紅白歌合戦に出場しました。K君がそのグループに所属していることを知っていた私は、二つ返事で番組出演の依頼を引き受けました。

昨年5月にインターネット配信されたこの番組は、30代後半になったK君がそれまでお世話になった方々に会い、当時を振り返りながら対談し、最後に感謝の言葉を述べるというものでした。担当ディレクターとの事前の打ち合わせで「K君は3年生の文化祭での劇ピノキオを話題にしたいと言っていますが、それでいいですか」と確認がありました。私もK君とこの音楽グループを繋ぐエピソードはこの劇にあると思っていたので同意しました。

この劇でK君は主役のピノキオを演じました。学級担任だった私は、ミュージカル風の劇にしたかったので、運動神経抜群だった彼に、「サーカスに売られたピノキオが劇中で踊りを披露する場面を入れたい」と提案します。K君は快く了解してくれました。やりやすいように選曲と踊りの振り付けはK君に任せました。

K君は番組で「ピノキオの踊りで多くのお客さんから大きな拍手をもらったことがとても気持ちよく、それがエンタメ業界で働こうと思うきっかけになった」と語り、私に感謝の言葉を述べました。因みに、K君が劇の踊りで選んだ曲は、デビュー直後の「現在彼が所属している音楽グループ」が発表したヒット曲でした。

わかりづらいので整理すると、K君は中学3年生の時に、当時自分が一番好きだった音楽グループの曲に振り付けして文化祭で踊り、卒業後に踊りの技術を磨いてそのグループに加わり、今度は自らヒット曲を出すことになったのです。

「文化祭が未来を変える」これは主役のK君だけの話ではありません。その時、背景画係や衣装係で活躍した何人かの生徒が、その後、デザイン関係や装飾関係の仕事に就き、同窓会の時に目を輝かせながら近況報告をしてくれました。大切なのは自分の個性を生かす場を見つけ、協力して何かを作り上げる経験をすることだと思います。高田中学校では先月、高田祭が行われましたが、今後も生徒の皆さんにはいろいろな場面で個性を発揮してほしいと願っています。

さて、K君が所属しているダンス&ボーカルグループは何だと思いますか？ヒントはPTA広報誌の私の自己紹介欄にあります。無くした方はいつでも職員室に訪れてきてください。

「マルちゃんオリジナルカップ麺をつくろう！」東洋水産（株）

10月24日（火）に、2年生の「マルちゃんオリジナルカップ麺をつくろう！」授業の商品発表会が開かれました。各クラスから2つずつ選ばれた代表商品6品のプレゼンを経て、2年生全員の生徒投票による1商品と東洋水産（株）特別審査員の投票による1商品の代表2商品が決定しました。東洋水産（株）様は関東工場、総合研究所、加工食品部、CSR広報部など各部門から6名が来校くださり一人ひとりのプレゼンにご経験に基づく講評をくださいました。年初に受けたOOKIWORKS代表大木 浩士さんの授業の教育効果でしょうか？今年は「味変」を楽しむ商品も多く登場していました。この後はTOPPAN株式会社のデザイナー様をお迎えしてのデザインとデザイナーの仕事（キャリア）についての授業となります。今年も生徒投票は一人一台のChromebookからの投票でしたが、生徒投票商品の開票結果はまさかの同点！ロイロで準備した投票用システムをO教諭が急遽修正して再度生徒投票が行われました。どの提案商品も思いがこもっていて、食べてみたいものばかりでした。



生徒投票代表商品：「雲呑麺」 特別審査員投票代表商品：「CHEWCHEW ラーメン」 その他代表4商品：「闇麺」「すきやキムチラーメン」「野菜たっぷりみそラーメン」「ギャップめん」

【横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同体育祭】

11月15日に個別支援学級小中交流会がありました。高田中学校区にある高田小学校と高田東小学校の個別支援学級児童と本校個別支援学級の生徒の交流を深めることを目的として実施いたしました。5、6組の生徒たちは、懐かしい先生や友達に会えたことがうれしいやら恥ずかしいやら、いつも以上に大はしゃぎでした。

交流会では、まず学校紹介を行いました。小学生の可愛らしい発表を聞いた後、私たち5、6組は、「中学校の一日」を劇にして発表しました。短い期間しか練習ができませんでしたが、生徒たちは全力で演技し発表することができました。学校紹介の後には、「じゃんけん列車」や「爆弾ゲーム」など、小学校低学年の子でも楽しめるレク活動を行いました。しゃがんで話しかけたり優しく手を引いてあげたりしている生徒たちの姿は、とても微笑ましく感じました。また、様々な場面で思いやったり、相手に合わせた会話をしたりしている姿を見て、身も心も大きく成長したことを感じました。私たちは中学生の生徒たちの姿しか知りませんが、きっと小学校の先生達は、生徒たちの成長に驚いたのではないかと思います。

今回、4年ぶりに開催できた小中交流会。今後も定期的に小学生との交流を深めていければと思います。

（個別級担任 城戸 ゆりか）



【Chromebook 端末持ち帰り】



20日(月)より、学校から生徒貸与されている Chromebook 端末の学習目的での持ち帰りが可能となりました。写真は先日全学年各クラスで「デジタルメディアとどうバランスをとっていったらよいか」を一人ひとり考える時間を持った際の様子です。高田中の生徒たちには「デジタル機材と上手に付き合って生活できる力」をつけていってほしいです。ご家庭でも自宅での使い方などお子様と会話いただくと共に保護者の方による適切な利用をご確認ください。

【様々な地域行事】

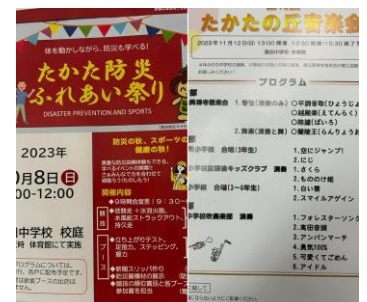
この1か月間、様々な地域行事が開催されました。いずれも地域の子どもたちが参加でき互いに交流をして地域社会の一員としての自覚も育まれることを目指されています。あらためて高田地域の皆様の想いに触れ、生徒が地域に守られ支えられていることを感じられる機会でした。

① たかた(高田)防災ふれあいまつり(10月8日(日))

スポーツの秋。コロナ前に毎年開催されていた地域運動会が4年ぶりに防災をテーマに、体を動かしながら防災も学べる「ふれあいまつり」としてリニューアルされました。小学生たちとともに参加した生徒たちの足の速さや速度配分やふるまいに中学生らしい成長ぶりを感じました。市長も区長も来られていましたが、生徒たちはびっくりしながらも挨拶をしに行っていました。照れながらでしたが、なかなか頼もしい姿でした。

② たかたの丘音楽祭(11月12日(日))

4年ぶりに「たかたの丘音楽会」が復活し地域、幼稚園、小学生など様々な方の演目や演奏が紹介されました。第12回目でした。当校吹奏楽部はトリでした。一人ひとりそれぞれの楽器を立派に演奏していました。楽しくリズムカルに演奏された『高田音頭』が地域の方にも喜んでいただけたとすると嬉しいです。当日はグラウンドでも同じく4年ぶりに復帰のソフトボール大会が開催され参加生徒たちは活躍をしていました。



③ 地域防災拠点訓練(11月19日(日))

今年は消火訓練や避難所用間仕切りテントの組立訓練に加え夜間想定訓練を追加し体育館を真っ暗にしてテントの中でランタンを灯してみようなど、地域の皆様が工夫を重ねられ区役所職員の協力の下実施されました。訓練をすることで初めて気づくことも多いです。在宅避難の呼びかけと共に、地域の防災力を高めてくださっています。

【その他】

高田中リーディング DX スクール専用ページ開設

獅子ヶ谷小学校と高田中学校は横浜市のリーディング DX スクール推進校（文科省事業）となりました。ついでには、高田中学校でのICTを用いた日常の学びの様子を紹介する専用ページが当校HPにできました。掲載内容は月に1～2度更新されていく予定です。



* “リーディング DX スクール”は、GIGA 端末を活用し、生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための文科省事業です。

あったか高田～今の彩り

「花と緑の会」の皆様と保護者花ボラの皆様のお陰で季節季節に高田中が花で彩られています。環境委員生徒は昇降口前にいつも工夫がされた花文字（花絵？）で生徒・教職員・来校者を楽しませてくれています。このようなホッとできる癒しの空間を提供いただけていることに感謝です。

